

【佳作】

北方領土問題とこれからの日本

根室市立光洋中学校

1年 立野 恋

一九四五年、ロシアにより北方領土が占領されました。

なぜロシアは、北方領土を占領し続けるのでしょうか。

北方領土は、もともと北方四島とその北側にある千島列島にアイヌ民族の人たちが住んでいました。そこにラッコの毛皮などを求め、南から日本人、北からロシア人が入ってきて、争いが生じます。そのため、日本とロシアは江戸時代の一八五五年に択捉島とその北側のウルップ島との間に国境線を引くことを決めました。

ところが、第二次世界大戦末期の一九四五年、アメリカなどと一緒に連合国の仲間だったソ連が、お互い攻撃しないという約束を破り、日本に攻め込みました。日本が負けを認めた後にも、ソ連は攻め続け、四島を占領しました。

これが北方領土問題の始まりです。

ロシアは、第二次世界大戦の結果による、「合法的」な編入だと主張し、現在でも変わらず北方四島を占領し続けています。ロシアにとって北方四島は戦略上、極めて重要な位置にあります。ロシアはユーラシア大陸にまたがる広大な国土を持っていますが、北極面に面している北側は冬の間、海が凍結して船の航行ができません。そこでロシアは歴史的に不凍港を重視してきました。西のヨーロッパはバルト海、ウクライナと接する南側は黒海、東は北方四島です。北方四島はロシアにとって、太平洋に出るための重要拠点なのです。

ロシアが北方領土を占領し続ける理由をまとめると、「第二次世界大戦での結果はロシアが勝ったから」「北方四島をロシアの領土にすることで争いや、太平洋に出るために重要だから」ということです。

しかし、ロシアにどのような理由があっても、北方領土は日本の領土であり、他国の領土ではありません。

日本は、北方四島が占領された直後から、「北方領土返還運動」を始めました。北方領土問題を政府広報の重要テーマとして取り上げ、テレビ、ラジオ、新聞、インターネットなどを通じて、広報活動を行うなど様々な取り組みをしています。返還運動以外にも日本政府は、北方領土問題を解決してロシアと平和条約を締結することにより、日口間に真の友好条約を確立するという方針のもと、粘り強くロシア政府との交渉も行っているようです。

今でも日本は、北方領土返還運動を続けていますが、日本人の中には北方領土返還に関して、あまり興味がない人や北方領土問題について知らない人が多いと思います。

そして、これから日本は、ロシアに対して返還運動や交渉をするだけでなく、国民にも北方領土問題について理解してもらえようような取り組みをすることが必要だと思います。